

動作確認チェックシート

検査日	2018年 11月 29日	(機械の仕様・規格を記入する。)			
商品名	電子天秤	電源電圧	DC15V 0.08A	内臓分銅	無
型式	EK-12KG	ひょう量	12000 g	モード	g,PCS,%
メーカー名	A&D	最小表示	1 g		
機械Ser.No	N0533914	直線性偏差	±1 g	通信機能	無
製造年月	年 月	繰り返し性	±1 g	軽量皿寸法	170×133 mm

チェック項目	主な確認内容	チェック(○×)
1 外観	筐体・キャスター・継手・スイッチ等に著しいキズ・破損・動作不良はないか。	○
2 起動動作	POWER ON時に異常(異音・異臭・漏電・暴走・アラーム表示等)はないか。	○
3 SW設定	SWの機能は正常か。	○
4 保管・出荷準備	水抜き・ビス締め・清掃・入庫元に関するシール等を取り除く。	-
5 確認シール	動作確認済シールを貼る	○

備考(動作確認内容・不具合内容等)

機器の仕様・規格を満たす事を確認する。(指定の分銅を使用する)

- 繰り返し性テスト (同じ分銅を10回計量し、その誤差を記入) 使用分銅 = 10000 g 誤差 = 0 g
- 四隅誤差テスト (右下図の位置で測定 最大ひょう量の約1/3の分銅を使用)
- 直線性テスト (無荷重、最大ひょう量、中間の3点を測定 ±誤差で記入)

無荷重 (0Kg)	0 g
0.25 (3Kg)	3000g
0.5 (6Kg)	6000g
0.75 (9Kg)	9000g
最大ひょう量 (12Kg)	11999g
最大誤差	-1g

①	5000g
②	5000g
③	4999g
④	5000g
⑤	5000g
最大誤差	-1g

四角皿 □

② ③

①

⑤ ④

丸皿 ○

④

③ ① ⑤

②

【コメント】 1hr通電し、10Kg 分銅にて校正実施後測定。

取扱説明書(無)

修理・改造履歴

年月日	修理・改造記録	作業者

File Maker入力

動作(OK) 作業工数[2H]
 検査担当者[佐藤]
 ユーザー名[]

(備考欄コメント)

[責任者]

出荷日 年 月 日

